



こすもす ひろば

第35号

〔村高町拠点〕〒444-1151 安城市村高町藤野里 7 1 番地 3 Tel : 0566-79-1215 Fax : 0566-79-1216

〔横山町拠点〕〒446-0045 安城市横山町浜畔上 5 8 番地 7 Tel : 0566-91-4799 Fax : 0566-91-4798

〔安城町拠点〕〒446-0026 安城市安城町宮地 5 7 番地 3 Tel : 0566-91-1621 Fax : 0566-91-1623

マリーナ Tel : 0566-91-3777 Fax : 0566-91-1623

URL : <http://cosmos-batake.or.jp/> E-mail : cosmos-batake@ia5.itkeeper.ne.jp (横山町拠点)

発行責任者：清水 有耶

こすもすひろば 第35号をお届けします！



代表
高橋 尚希

新年、明けましておめでとうございます。本年も宜しくお願い致します。
お正月はどうでしたか？行事ごとは人それぞれで、楽しめる人もいれば嫌いな人もいますし、あのことは楽しめるけど、このことはいやwって感じの人もいると思います。とかく生活のリズムが崩れやすい時ですので、風邪・発作・昼夜逆転等になってしまった人は、できるだけ早く、いつもの生活リズムを取り戻してくださいね。また、お正月がどうだったか教えて下さいね。

もの思ふ…（過ちは人の常、許すは神の業…） *高橋個人が思ったことで、法人全体の正式見解ではありません。ご了承ください。

「過ちは人の常、許すは神の業」これはイギリスの詩人アレキサンダー・ホープの言葉で、前半の解釈は「人間と言うのは常に過ちを犯すもの」で良いと思いますが、後半は「過ちをしても許す努力をなさい」という意味に訳される時もありますが、「それを許すことは神の業の様に難しいことだから簡単には出来ない」とか、「そういう人間が同じ人間をとにかく言うのではなく、許すか許さないかは人より高い所にいる神に委ねなさい」と言う様に、訳から解釈の説明になっているものもあります。結局、過ちを犯した人を見つけた人は、許せばいいのか、許さない方がいいのかが分かりませんw

これとは別に、僕自身が良く使う言葉で「世の常、人の常を考えて言動をしましょう」と言います。意味としては、「自分の頭の中の理屈や行動原則にだけに沿って言動するのではなく、現在の世の中の当たり前や他の人がどう思うか、どう解釈されるかを考えてから言動をしましょう」という意味です。とかく頭の中で理論立てて考えている内容というのは勝手に、人が思う様に動いていて世の中も理解してくれることが前提で考えてしまいがちなのです。でも実際は「過ちは人の常」で、思う様に動いてくれないのが人です。でもそれが当たり前で、だから面白いのが世の中なんですね。人はロボットではないのでプログラム通りには動いてくれません。しかし、プログラムを作るのと同じくらい労力を費やして、やろうとしていることを伝えと、ほぼ同じことは出来るはずなんです。人が面白いのは、ロボットはプログラムした内容のこと以外は出来ませんが、人は培ってきたものをベースに、気づいたり感じたり思ったり出来るのと、状況が変化した場合に臨機応変な対応が出来るのです。だから過ちも犯す。だからロボット以上の事も出来るのです。つまり、理論上で考えたことをロボット言語として捉えたとしたら、世の常（状況）、人の常（あの人やるから、あんなことが想定できる）を考えた上で、ロボット言語をその人用の言語に変換して伝えたら、ロボット以上の成果が生まれる可能性が高くなるはず！でも、まあ、なかなか上手くは行かないですけどね……。でも、それもまた「世の常、人の常」。

話を戻しますが「人は過ちを犯すもの」これは揺るぎない真実ですね。その過ちを見た人は…それも人。だから、神の様に適切な判断の下、適切な対応（許す・許さない）をとる事も、人には感情もあるので難しいですよ。ここで問題となるのは、適切な対応の方法に許さないが入っている事。いずれは許すにしても、その時は許さない方が本人の為になる事もありますよね。重要なのはどちらの対応も、その人を切り捨ててはいないと言う事ですね。

ロゼに新作デザート登場？！

昨年の秋イベントで好評だった“ちょこっとティーセット”のチョコケーキが本格的に販売決定しました！！右写真は試作段階のケーキになります。チョコケーキの中にローゼルソースを入れ、表面をチョコでコーティングして焼いています♪商品名は“チョコ♥ロゼーヌ”です。販売した際には、ぜひご賞味下さい。





岡本 摩奈美

生活介護事業

新しい年が始まります。平成27年は生活介護をご利用頂いております利用者様・保護者様には変化の年になります。横山町にて生活介護事業を始めて5年が経ちました。そして3月には生活介護事業が堀内町に新たに開所されることになりました。“自分の居場所・自分らしく自分のペースで”と言う思いから「マイスペース」と名付けました。こすもす畑の生活介護事業は「こだわりの店 ロゼ」と「マイスペース」の2カ所となり、これから新しい仲間も増えます。「自分らしく楽しく働く」を合言葉に利用者様・スタッフで楽しい時間を共有したいと思います。変化の年となりますが・・・変化が苦手な方も多いかと思えます。苦手な変化が楽しい変化となるよう、スタッフ一同全力でサポートしたいと思います。

昨年10月に行った行事「土器づくり」の力作が完成しました！！弥生時代にタイムスリップしちゃいそうな作品ばかりでした（笑）とても貴重な体験でした。11月14日には「志摩スペイン村・パルケエスパーニャ」へ日帰り旅行に行きました。晴天に恵まれ、大型バスでの旅行に皆様ウキウキ気分でお出立！遊園地で遊具に乗る方、パレードを笑顔で見ている方、おいしい食事に満足そうな方と楽しみ方は様々な1日でした。12月には今年も招待頂き「夢いっぱい・チャリティーコンサート」に行き、芸術に触れてきました。音楽に合わせて体を動かす方、歌と一緒に歌う方、心地よい音楽を聴きながら目を閉じている方・・・、皆様それぞれ芸術を堪能していました。またまた貴重な体験をさせて頂きました。

今年も利用者様と一緒に楽しい体験をたくさんして行きたいと思えます。



生活介護事業所 こだわりの店 ロゼ 管理者：岡本 摩奈美



佐宗 隆史

ローゼル日記

ローゼルの収穫も終わり、冬は来年度に向けての畑の準備を進めております。毎年ローゼルを育てていく上でお世話になっている方々が多く、本当にありがとうございます。今年度は夏から秋にかけての悪天候の影響もあつたか、昨年度よりも収穫量が減ってしまいました。お世話になっている方々に恩返しをする意味も込め、来年度こそはたくさん収穫出来る様に、準備をしっかりして春に挑んでいきたいと思えます。

最近ローゼルというものが安城市の中に広まりつつあるな、と思った事がありました。昨年12月に安城市民交流センターにて『ローゼルを使った料理を食べよう』という講座があり参加してきました。主婦の方から農家の方まで、いろいろな方と共にローゼルを使用した料理を作りました。その中には実際にローゼルを育てている方や苗を買って育てていたという方もいて驚きました。また、お墓の横に何か実が付いているなと思っていたらそれがローゼルというものだった・・・とおっしゃる方もいました。ローゼルとはどういうもので、苗を販売している所はどこか？という質問もあり、ロゼのお店を様々な方に知って頂く良い機会にもなりました。さらに夏にはロゼに来店して下さった小学生のお客様が、ローゼルの自由研究をしているとのことで畑の見学にもいらっしやいました。少しずつ広まっていると感じることが多く、ローゼルの今後は非常に楽しみです。



左の写真は、来年度用のローゼルの種です。この種を使って苗作りをしていきますよ!(^_^)!

ちなみに袋は種の落下防止です。

ローゼル責任者 佐宗 隆史



真下 敦

就労移行支援事業

新たな年、平成27年を迎えました。気分一新！良い年に成ります様、昨年以上にがんばります♪

皆さん“芽キャベツ”ってご存知でしょうか？そうです、あのキャベツを小さくしたミニキャベツです。（下部写真参照）私も話には聞いた事もありましたが・・・。実はロゼのパスタにも使われているんですよ！（一部のメニューだけですが）その野菜をつばめの畑で作って見ました。と言っても、素人が聞いたり調べたりしただけでの植え付けですので、お店で販売されている物には敵いませんが・・・。それでも何とか試行錯誤をしながらですが、なんとか実を付けてくれました。ロゼにご来店の際には、是非ご賞味くださいませ。春メニューに使用される予定です。ミルフィーユ状に重なった芽キャベツをギュギュッと噛みしめて、春の味覚をご堪能くださいませ♪



最後に。就労移行支援事業所“つばめのす”は、事業所説明会でお伝え致しました通り、平成27年2月末日をもちまして閉所となります。平成24年5月に開所してから、わずかな期間での閉所となり、本当に申し訳ございません。ご協力頂きました皆様には本当に感謝しております。同時にロゼ通用口にて販売させて頂いておりました“つばめの畑”も終了となります。お買い上げ頂きました方々、本当にありがとうございました。

就労移行支援事業所 つばめのす 責任者：真下 敦



高野 知子

放課後等デイサービス事業

本年も放課後等デイサービス「大地」を宜しくお願い致します。今年も皆様が健やかに過ごして頂けます事を、お祈り申し上げます。

寒さも本番で、年末～年始に掛け珍しく積雪にみまわれ、全国的にもインフルエンザが大流行でしたね。そんな厳しい状況でしたが、思いのほかデイサービスをご利用の皆様は、体調を崩す方が少なかった様に感じました。まだまだ寒さも厳しくなっていますが、時間が許す限りデイサービスでの余暇時間では、身体を動かしたり、ウォーキングに出掛けたりと元気一杯に過ごして頂けるようにしたいと思います。また、手洗い等も習慣化して頂ける様声かけを行い、風邪等の感染予防にも努めて行きたいと思ひます。スタッフサイドも健康管理には十分に注意して行きます（^^）



作業形態を変更して1年になりました。“ポケットティッシュにカードを差し込む”という単純な作業ですが、利用者様の個々の力に合わせて進めて行く中で、目覚ましい成長を遂げて行っています。同じ事を繰り返す事でレベルアップに繋がり、日々の素晴らしい成長に驚かされています。今年も色々な事に挑戦して頂き、デイサービスでの時間を楽しんで頂けるよう、スタッフ一同努力して行きたいと思ひます。（*^。^*）



放課後等デイサービス事業所 大地 責任者：高野 知子



居宅介護事業

宇野 一志

他の事業に比べ、青空は地域の人と関わる機会が多くあるかと思えます。最近のある利用者様とよく行くお店での出来事なのですが・・・。基本的にレジで会計をする際には、多くの店員さんの場合、付き添っているヘルパーを見ながら会計を進め、ヘルパーに確認作業が行われます。また、お金を出すのに時間が掛かると、チラチラとヘルパーを見て急かすかのような仕草をされる時もしばしば・・・(^_^) (それらがいけないと言っているわけではありませんので、ご注意ください!! m(_ _)m)

そのお店にはよく行く事もあり、最近一人の店員さんが顔を覚えてくれたようで、僕たちの会計の番になると挨拶をして下さるようになりました。またその店員さんは、利用者様を見て会計を進めていき、お金を出す時には笑顔で「ゆっくりでいいからね」と一声かけて下さるようになりました。(金額が足りない時は、「あと〇〇円ありますか(^_^)?」と聞いて下さいます。)

ヘルパーの接し方を見て、自分なりに対応の仕方を考えて下さったのか定かではありませんが、その変化がとても嬉しく感じ、この店員さんのように少しだけ寄り添っていただけると、利用者様も地域の人と関わる経験が積みやすいのかなと思えました。また、少しだけ福祉分野の啓発になったのかなとも♪

十人十色というように色々な個性がある中で、利用者様一人ひとりと向き合いながら、それぞれのニーズにあった楽しみ方を提供し、色々な事を経験を積んで頂けるように支援にあたれたらいいなと思っておりますので、本年もどうぞ宜しくお願い致します。

居宅介護等事業所 青空 サービス提供責任者：宇野 一志



相談支援事業

三條 淑恵

今回は相談支援事業として最後のこすもすひろばとなります。2014年も皆様にお世話になり、ありがとうございました。相談支援事業所 マリーナの閉所に伴い、移行先の相談支援事業との引継ぎをさせて頂きまして大変ご迷惑をおかけしております。相談支援に携わらせて頂くことで、障害福祉サービス事業を初めてご利用になられる不安や、以前から事業所の利用を継続されている方も相談支援が入ることでどう変わるのか、疑問点や心配事もあったかもしれません。その方が今までの生活に加えて新しく事業所の利用をして、少しずつその場での集団生活に慣れていく過程や様子を観察することで人との輪が広がる場面に立ち会えたり、「こんな行動もするんだ～」と生き生きと過ごされる姿を拝見できたり、「一所懸命絵を描いたから見に来て!(^_^)!!」と利用者様に言って頂き、とっても嬉しく日々の励みになりました。そして、ご本人様の希望を聞き取ることが難しい方等のサービス等利用計画書については、本当に本人が望んでいることなのか、ご本人・保護者様の方々が気軽に相談に來れていたのか、ご本人様に寄り添える支援が提供できたのか自問自答することも多々ありました。その時々で壁にぶつかって迷うこともありましたが、丁寧に一人ひとり関わり合えるように努めてきました。皆様に出会えるご縁を頂き、たくさん笑顔に支えられ充実した気持ちでこの仕事に臨めたことに深く感謝しております。「今までお世話になり、ありがとうございます。」

2015年の抱負としましては、相談支援事業はこの2月をもって閉所致しますが、残りわずかの一日一日を大切にしながらこの福祉の仕事に自分なりに「志」を持って笑顔を絶やさず幸せに過ごしていきたいと思っております。どうぞ宜しくお願い致します。

相談支援事業所 マリーナ 相談支援専門員：三條 淑恵



岡部 雅彦

レスパイト事業



今回は、去年の10月26日(日)に行った『野を越え山越え? 電車でGO! 名古屋港水族館』の様子をお伝えしたいと思います。

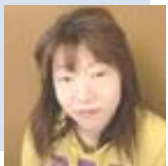
当日は天候にも恵まれ、水族館で元気良く過ごされる利用者様を見ることが出来ました。名古屋港水族館といえばイルカのショーですね。迫力のあるショーをじっと見たり、時には拍手をしたりして過ごされていました。またイルカの水槽の前に座り穏やかな表情でイルカの動きをじっと眺めたり、イワシのトルネードショーでは、餌を取りに行く素早いイワシの動きに目を奪われたりしていました。

楽しい行事の中で切符の購入や電車のマナーを学んだり、買い物などの支援もできたと思います。

春頃にはカラオケや遠足などの行事も考えておりますので、皆様のご参加をお待ちしております。



レスパイト事業 管理者：岡部 雅彦



中川 美香

★事務局より★

赤い羽根共同募金運動は、毎年1回、10月1日～12月31日まで、

赤い羽根
共同募金

北海道から沖縄まで全国一斉に行われます。

こすもす畑では、こだわりの店 ロゼの店頭で募金箱の設置をしたり、ポスターの掲示等を行い募金運動への協力を行いました。毎年、助成金の申請を生活介護事業・放課後等デイサービス事業・就労移行支援事業にて行い、配分金を各事業の教材費や消耗品、行事の材料など物品の購入に充てさせて頂いております。これもご協力頂いている皆様方のお蔭だと感謝致しております。

事務長：中川 美香

* NEW スタッフ紹介 *

支援員を増員しましたので
ご紹介します☆



うらかわ だいき
浦川 大樹さん

若さを生かした
立ち回りで頑張ります!
宜しくお願いします。

平成26年度 賛助会員を募集しています

こすもす畑では、法人の理念・活動に賛同し、ご支援して頂ける賛助会員を募集しています。

★賛助会員費（年間）：一口3,000円

現在、賛助会員費は、新しいサービスの準備資金として、お預かりさせて頂いております。

★賛助会員は、年度ごとの入会となります。平成26年度の会員特典として、「カラー版会報誌」の送付を行なっています。

★平成26年度の賛助会員お申し込みは、こすもす畑まで、お気軽にお問い合わせください。

暖かい ご支援ありがとうございます。

保護者の方からポーチ等のご寄附を頂きました。

ありがとうございました。



こだわりの店 ロゼ 冬のおすすめメニュー



エビとしめじの
ホワイトバジルパスタ ¥850



海鮮とキノコの
チーズリゾット ¥800



おさつ in
かぼちゃポタージュ
¥500



季節の根菜チャウダー
¥500

営業時間：10:30～14:00（ラストオーダー 13:30）*写真はイメージです。